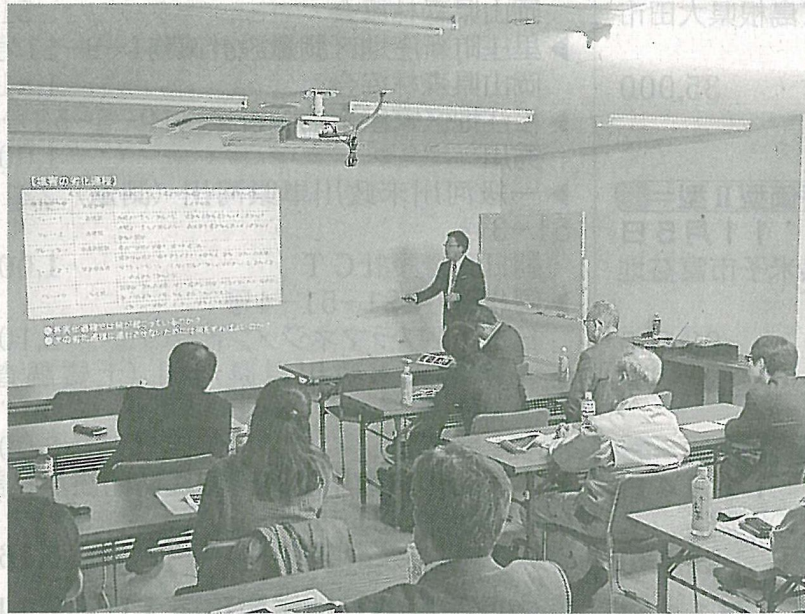


「橋梁補修は斯くありたし」 江良氏講師に定例サロン 広島県コンクリート診断士会

広島県コンクリート診断士会(米倉亜州夫会長)の2カ月に一度の定例サロン(勉強会)が11日、広島市中区で開かれ、講師には(一社)コンクリートメンテナンス協会の江良和徳技術委員長が登



熱弁をふるう江良氏

場。20人の出席会員を前に、補修に取り組む技術者の心構えを説いた。
診断士会の設立以来、毎回テーマを変えて開催しているサロンも今回で21回目。この日は(一社)コンクリートメンテナン

ス協会の主催で10月13日に開かれた『コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム』技術者たるもの、斯くありたし』の3人の講師の中から、診断士会の会員でもある江良氏(極東興和)

を招いた。

江良氏は、同フォーラムでの講演内容をベースに、診断士資格者向けに高度化した内容を披露。

「与えられた条件での橋梁補修は斯くありたし」と題し、「コンクリートの補修は定量的かつ主体的に行うべき」と強調した。

「(一)でいう定量的とは「正しい調査診断結果に基づいた要求性能の設定、工法選定が行われているか」、主体的とは「この構造物を今後どのように維持管理していくつもりか」ということで、塩害やASRなどの各劣化症状に応じた調査・診断・設計の基本的な考え方についても解説。

終了後には恒例の懇親会も催され、親睦を深めた。